田尻町文化財調査報告　第19集

田尻町内遺跡群発掘調査概要12

２０１１．３

田尻町教育委員会

はじめに

埋蔵文化財（遺物・遺構）を包蔵している遺跡は、普段は私達の目に触れることは、ほとんどありません。地中の中で永い年月の間、遺構や遺物などの埋蔵文化財は保存されてきました。

しかし、近年開発等による掘削工事により埋蔵文化財が破壊されてきています。遺跡には、先人達の大切なメッセージが埋蔵文化財として託されています。そのメッセージを現在の人々、更には未来の人々に伝えてゆかなければなりません。

本書は、平成22年度に田尻町教育委員会が実施した埋蔵文化財調査の成果を収録しています。この地域の歴史像をさらに豊かにするための資料として活用していただければ幸いです。

概要を報告するにあたり、調査にご協力いただいた地元の方々並びに関係各位にお礼申し上げるとともに、今後とも文化財保護にご理解とご協力を賜りますようお願い申しあげます。

平成23年3月31日

田尻町教育委員会
教育長　二澤　隆史

例　　言

1．　本書は、田尻町教育委員会が平成22年度に実施した、大阪府泉南郡田尻町域における埋蔵文化財緊急発掘調査の概要報告である。

2．　調査は田尻町教育委員会学事課文化財保護係 中野篤史を担当者として、平成22年4月1日に着手し、平成23年3月31日に終了した。

3．　本書における図面の方位については磁北を示す。

4．　調査の実施にあたっては、下記の諸氏の参加協力を得た。
目出裕美子

5．　現地調査にあたっては、土地所有者をはじめとする工事関係者等多くの方々の協力を得た。感謝の意を表する。

6．　本書の執筆は中野がおこない、編集は目出、中野がおこなった。

7．　本書は、平成22年4月から平成23年1月までに実施した調査を掲載している。

目　　次

第１章　文化財調査の状況…… 1
　１．田尻町の位置と環境…… 1
　２．平成22年度の埋蔵文化財調査の現状…… 1
第２章　田尻町内遺跡群と周辺遺跡の概要…… 2
第３章　調査の概要…… 6
　開発確認調査01…… 6
　田尻遺跡第33次調査…… 8
　田尻遺跡第34次調査…… 10
報告書抄録 …… 巻末

挿　　図

図１　田尻町位置図…… 1
図２　田尻町周辺の遺跡分布図…… 4
図３　調査地点位置図（開発確認調査01）…… 6
図４　調査区設定図（開発確認調査01）…… 7
図５　土層断面図（開発確認調査01）…… 7
図６　調査地点位置図（田尻遺跡第33次調査）…… 8
図７　調査区設定図（田尻遺跡第33次調査）…… 9
図８　Tr.1土層断面図（田尻遺跡第33次調査）…… 9
図９　Tr.2土層断面図（田尻遺跡第33次調査）…… 9
図10　調査地点位置図（田尻遺跡第34次調査）…… 10
図11　調査区設定図（田尻遺跡第34次調査）…… 10
図12　土層断面図（田尻遺跡第34次調査）…… 10

挿　　表

表１　過去５年間の届出件数表…… 1
表２　遺跡別発掘届出件数表…… 1
表３　届出・通知・試掘依頼一覧…… 2

図　　版

図版１　Tr.1土層堆積状況（開発確認調査01）　Tr.2土層堆積状況（開発確認調査01）
図版２　Tr.3土層堆積状況（開発確認調査01）　Tr.1土層堆積状況（田尻遺跡第33次調査）
図版３　Tr.2土層堆積状況（田尻遺跡第33次調査）　Tr.1土層堆積状況（田尻遺跡第34次調査）

第１章　文化財調査の状況

１．田尻町の位置と環境

田尻町は大阪府の南西部、大阪湾海岸線の南部に位置し、東は泉佐野市、南西は泉南市に接し、北西は大阪湾に面する。町域の面積は約4.96平方㎞である。海岸線に並行して南海本線が、町域南部を国道26号線がとおり、泉南地域の基幹交通路となっている。町域の北東部から中央部にかけて田尻川、南西部を樫井川が流れ大阪湾に注いでいる。

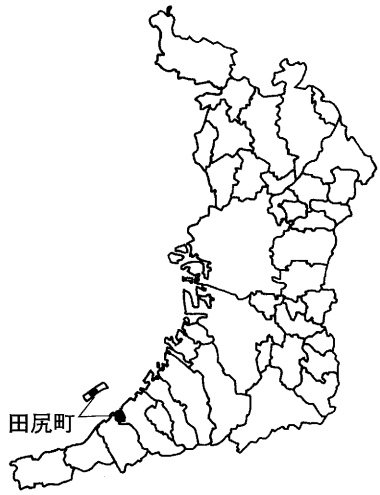


図１　田尻町位置図

２．平成22年度の埋蔵文化財調査の現状

田尻町は、近年の財政状況の悪化により公共工事が減少し、また、不況下の影響により民間の小規模な分譲住宅や共同住宅等の開発も減少している。

平成22年度における文化財保護法第93条、第94条に基づく土木工事等による埋蔵文化財発掘の届出は個人住宅、民間開発、電気・ガス等に伴うもの10件、公共工事に伴うもの２件の計12件である。また、遺跡範囲外での各種開発確認調査のための試掘依頼の件数は１件となっている。

過去５年間の文化財保護法関係の届出件数は表１、表２のとおりである。また、平成22年度調査地は表３のとおりである。

	個人住宅	民間開発	公共工事	合計
平成18年度	1	6	2	9
平成19年度	2	1	1	4
平成20年度	0	2	2	4
平成21年度	2	4	5	11
平成22年度	3	7	2	12

（遺跡発見届出を含む）

表１　過去５年間の届出件数表

番号	遺　跡　名	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
1	田尻遺跡	5	4	2	7	8
2	夫婦池遺跡			1		
3	船岡山遺跡	1		1	1	
4	嘉祥神社本殿					
5	船岡山南遺跡					
6	藤波遺跡					
7	吉見藩陣屋跡				2	4
8	羽倉崎遺跡				1	
9	樫井西遺跡					
10	林嵜遺跡					
11	中島遺跡	3				

（遺跡発見届出を含む）

表２　遺跡別発掘届出件数表

	申請者	申　請　地	原　　因	遺跡名	指導事項	検出遺構	出土遺物
1	**田尻町**	**田尻町吉見地内**	**トイレ棟設置**	**田尻遺跡**	**工事立会**		
2	**個人開発事業者**	**田尻町吉見地内**	**共同住宅建築**	**田尻遺跡**	**発掘調査**	**落込み**	**須恵器、土師器、黒色土器**
3	**宗教法人**	**田尻町吉見地内**	**拝殿建築**	**吉見藩陣屋跡**	**工事立会**		
4	**大阪ガス㈱**	**田尻町吉見地内**	**ガス管埋設**	**吉見藩陣屋跡**	**慎重工事**		
5	**個人開発事業者**	**田尻町吉見地内**	**共同住宅建築**	**田尻遺跡**	**工事立会**		
6	**田尻町**	**田尻町吉見地内**	**下水道管埋設**	**田尻遺跡**	**慎重工事**		
7	**個人**	**田尻町吉見地内**	**個人住宅建築**	**吉見藩陣屋跡**	**工事立会**		
8	**個人開発事業者**	**田尻町吉見地内**	**共同住宅建築**	**田尻遺跡**	**発掘調査**	**なし**	**なし**
9	**大阪ガス㈱**	**田尻町吉見地内**	**ガス管埋設**	**吉見藩陣屋跡**	**慎重工事**		
10	**個人**	**田尻町吉見地内**	**個人住宅建築**	**田尻遺跡**	**工事立会**		
11	民間開発事業者	田尻町嘉祥寺地内	分譲住宅建築	範囲外	開発確認	落込み	土師器、瓦器陶器、瓦
12	**個人開発事業者**	**田尻町吉見地内**	**共同住宅建築**	**田尻遺跡**	**発掘調査**		
13	**個人**	**田尻町吉見地内**	**個人住宅建築**	**田尻遺跡**	**工事立会**		

※太字は文化財保護法に基づく届出・通知

表3　届出・通知・試掘依頼一覧

第２章　田尻町内遺跡群と周辺遺跡の概要

田尻町内には縄文時代から近世までの11ヵ所の遺跡がありますが、ほとんどの遺跡は発掘調査件数が少なく、遺跡の性格が不明のものがほとんどで遺物散布地となっている。

羽倉崎遺跡

田尻町の北東部、主に泉佐野市に広がる標高３ｍ～６ｍに位置する古墳時代の遺物散布地である。古くに古代製塩土器が出土したとの記録があり、泉佐野市教育委員会による発掘調査が数回行われ90－01区の調査で江戸時代後半の陶器が出土している。

田尻町教育委員会による平成16年の調査で、耕作に伴う溝、水溜遺構、河川跡を検出している。包含層より土師器、瓦器が出土している。

船岡山遺跡

船岡山遺跡は、田尻町と泉佐野市にまたがる、樫井川の右岸に沿う沖積段丘上に位置する縄文時代晩期から弥生時代前期にかけての遺物包含層がある遺跡である。これまでに大阪府教育委員会、泉佐野市教育委員会による同遺跡の調査で溝、土坑、柱穴が検出されている。

元は船岡山A～C地点に分かれていた遺跡であるが、調査を進めていく中で１つの遺跡であると判明し、昭和61年に３つの地点が集約され、船岡山遺跡となった。

主に、縄文時代後期～弥生時代の集落跡に位置づけでき、泉佐野市による55－02区の調査で庄内式甕や布留式甕、製塩土器、高杯形土器等を伴った竪穴住居１棟、土坑、溝を、84－03区調査時に縄文時代晩期船橋式土器、弥生時代前期土器を伴った掘立柱建物野倉庫１棟、土坑、溝を、91－03区調査で弥生時代後期～古墳時代前期の掘立柱建物倉庫1棟をそれぞれ検出し、遺物は石器、弥生土器、土師器、須恵器、瓦器、陶磁器出土している。また、同市の04－03区で遺構は出ていないが中世段階と思われる土師質蛸壺片、近世の土坑や溝、落ち込み等が数箇所の調査区から検出されており、各時代にわたり人々の生活がうかがえる。同市の03－01区調査で溝等とともに遺構・遺物の密度から縁辺部が判明した。

船岡山南遺跡

田尻町の南東部、泉佐野市に広がる標高８m～10mに位置する弥生時代～中世にかけての遺物散布地である。泉佐野市による88－01区調査で遺物が若干数と、94－01区で中世の土師器、瓦器等が出土しているが、遺構は検出されていない。

藤波遺跡

田尻町の南部、主に泉佐野市に広がる標高10m～12mに位置する中世の遺物散布地である。平成20年度泉佐野市による発掘調査では溝、ピットが検出され、土師器、瓦器、陶磁器が出土している。

夫婦池遺跡

夫婦池遺跡は、田尻町と泉佐野市にまたがる、標高7m～9mにかけて位置する弥生時代から古墳時代にかけての遺物散布地である。泉佐野市による昭和61年度の調査では、中世廃絶の溝１条、江戸時代後半に廃絶したと思われる井戸、５世紀代の須恵器を含むピット、中世から現代にいたるスキ溝が検出されている。その他、土師器、瓦器、須恵器、陶磁器等の遺物が遺物包含層から出土している。

嘉祥神社本殿

桃山建築様式を伝える江戸時代初期の神社建築物。大阪府指定文化財。

吉見藩陣屋跡

田尻町の北部、旧街道（浜街道・孝子越街道）沿いの標高４m～５mに位置する中世～近世にかけての遺物散布地である。これまでの調査では、粘土採掘坑などが検出されている。遺物は、土師器、須恵器、瓦器、陶磁器が出土している。なお、遺跡内には大阪府指定文化財の田尻歴史館（旧谷口家吉見別邸）がある。

林嵜遺跡

田尻町の北部、旧街道（浜街道・孝子越街道）沿いの標高２m～４mに位置する近世墓地跡である。近代に移転された。これまでの調査により土坑、スキ溝などが検出されている。遺物は、陶磁器のほか弥生土器、土師器が出土している。

図２　田尻町周辺の遺跡分布図　1/20,000

中島遺跡

田尻町の中央部に所在する標高 3.5～４ｍに位置する中世～近世の集落跡である。平成15年度に実施した試掘調査により新規に発見した。土坑、小穴、柱穴等の遺構が検出されている。遺物は瓦器、土師器が出土している。

田尻遺跡

田尻遺跡は、標高５ｍ～７ｍにかけて位置する古墳時代から中世にかけての遺物散布地である。昭和60年の大阪府教育委員会の調査では弥生時代後期、古墳時代後期から奈良時代、中世の３時期の遺構・遺物が確認されている。弥生時代後期の溝が検出されている。昭和62年の調査では中世以降の農耕に伴う溝や近世以降の土坑が検出されている。平成６年の調査では中世に属する溝、土坑やピットが確認されている。

樫井西遺跡

田尻町の南部、主に泉佐野市に広がる標高10ｍ～11ｍに位置する。昭和60年度の発掘調査で新たに発見された遺跡で、弥生時代の方形周溝墓群と古墳時代～中世の集落跡である。泉佐野市による85－01区調査から弥生時代の総柱建物、方形周溝墓、ピット等が検出されており、特に同市の95－01区調査では、古墳時代中期の住居３棟と掘立柱建物２棟、土坑２基、溝、堀、弥生時代

の方形周溝墓群(6基)、さらに1号住居跡からはカマドや貯蔵穴などが検出され、当時の生活を知る重要な資料となった。平成9年度の同市の調査では、土坑から特殊な場所でしか出土しないとされる韓式系土器が出土し、当該地が祭祀のために使用されていた可能性もうかがえる。99―01区の調査では中世の溝が検出され、屋敷の区画溝と考えられている。遺物は、弥生土器、土師器、須恵器、瓦器、陶磁器などが出土しており、弥生時代～近世の幅広い時期のものが確認されている。

(参考文献)　書　　名	編集・発行	発行年
『泉佐野市所在遺跡発掘調査概要Ⅰ―湊遺跡・三軒屋遺跡・船岡山B地点遺跡―』	泉佐野市教育委員会	1981.3
『昭和60年度　泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要Ⅵ』	泉佐野市教育委員会	1986.3
『泉佐野市埋蔵文化財調査報告Ⅷ　夫婦池遺跡発掘調査報告書―市営住宅建築工事に伴う調査―』	泉佐野市教育委員会	1986.3
『昭和61年度　泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要Ⅶ』	泉佐野市教育委員会	1987.3
『昭和62年度　泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要Ⅷ』	泉佐野市教育委員会	1988.3
『昭和63年度　泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要Ⅸ』	泉佐野市教育委員会	1989.3
『平成2年度　泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要』	泉佐野市教育委員会	1991.3
『泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要　平成6年度』	泉佐野市教育委員会	1995.3
『第22号　泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要』	泉佐野市教育委員会	1996.3
『泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要　平成9年度』	泉佐野市教育委員会	1998.3
『泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要　平成10年度』	泉佐野市教育委員会	1999.3
『泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要　平成11年度』	泉佐野市教育委員会	2000.3
『第40号　泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要』	泉佐野市教育委員会	2000.3
『泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要　平成12年度』	泉佐野市教育委員会	2001.3
『泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要　平成15年度』	泉佐野市教育委員会	2004.3
『第49号　泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要』	泉佐野市教育委員会	2006.1
『泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要　平成17年度』	泉佐野市教育委員会	2006.3
『第56号　泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要』	泉佐野市教育委員会	2008.3
『泉佐野市埋蔵文化財調査報告65　夫婦池西遺跡07－1区の調査』	泉佐野市教育委員会	2008.3
『泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要　平成19年度』	泉佐野市教育委員会	2008.3
『大阪府文化財調査概要　1984年度』所収「田山遺跡発掘調査概要　付章　田尻遺跡の調査」	大阪府教育委員会	1985.3
『昭和62年度　田尻遺跡・船岡山遺跡発掘調査概要』	大阪府教育委員会	1988.3
『泉南郡遺跡群発掘調査概要・Ⅲ』	大阪府教育委員会	1993.3
『田尻町遺跡発掘調査概要』	田尻町教育委員会	1994.7

『田尻町内遺跡群発掘調査概要１』　田尻町教育委員会　2000.3
『田尻町内遺跡群発掘調査概要２』　田尻町教育委員会　2001.3
『田尻町内遺跡詳細分布調査概要』　田尻町教育委員会　2001.3
『平成12年度　田尻遺跡発掘調査概要』　田尻町教育委員会　2001.3
『田尻町内遺跡群発掘調査概要３』　田尻町教育委員会　2002.3
『田尻町内遺跡群発掘調査概要４』　田尻町教育委員会　2003.3
『田尻町内遺跡群発掘調査概要５』　田尻町教育委員会　2004.3
『田尻町内遺跡群発掘調査概要６』　田尻町教育委員会　2005.3
『田尻町内遺跡群発掘調査概要７』　田尻町教育委員会　2006.3
『田尻町内遺跡群発掘調査概要８』　田尻町教育委員会　2007.3
『田尻町内遺跡群発掘調査概要９』　田尻町教育委員会　2008.3
『田尻町内遺跡群発掘調査概要10』　田尻町教育委員会　2009.3
『田尻町内遺跡群発掘調査概要11』　田尻町教育委員会　2010.3

第3章　調査の概要

平成22年度において実施した遺跡範囲外での開発確認調査1件、遺跡内での試掘調査2件についてその概要を記す。

開発確認調査01

申 請 者：民間開発事業者

調 査 地：田尻町嘉祥寺地内

申請面積：890㎡

調査面積：約12㎡

調査期間：平成22年11月12日

調査の概要

今回の調査は、宅地造成に伴い実施した遺跡範囲外での試掘調査である。調査地は標高4ｍに位置し、旧街道（浜街道・孝子越街道）に接している。付近には桃山建築様式の嘉祥神社本殿や江戸時代の嘉祥寺墓地跡の林嵜遺跡がある。

平成22年11月12日に開発予定地内に3箇所の調査区を設定し、約12㎡について調査を実施した。

図３　調査地点位置図（1/5,000）

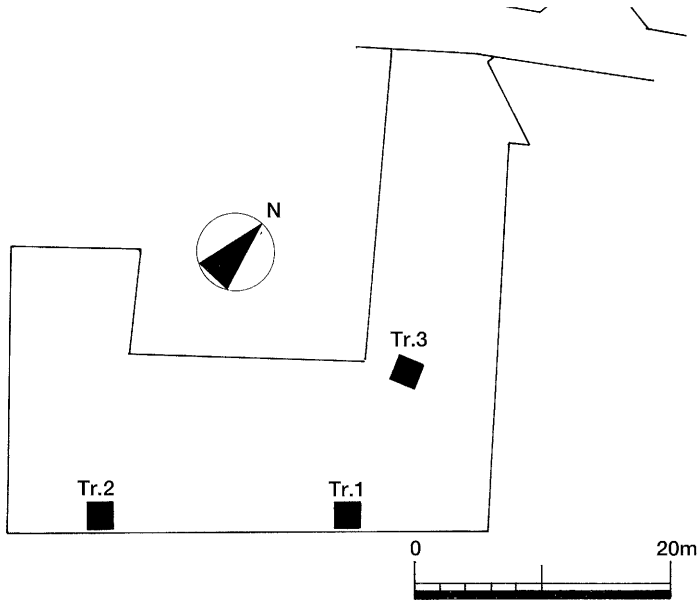


図４　調査区設定図（1/600）

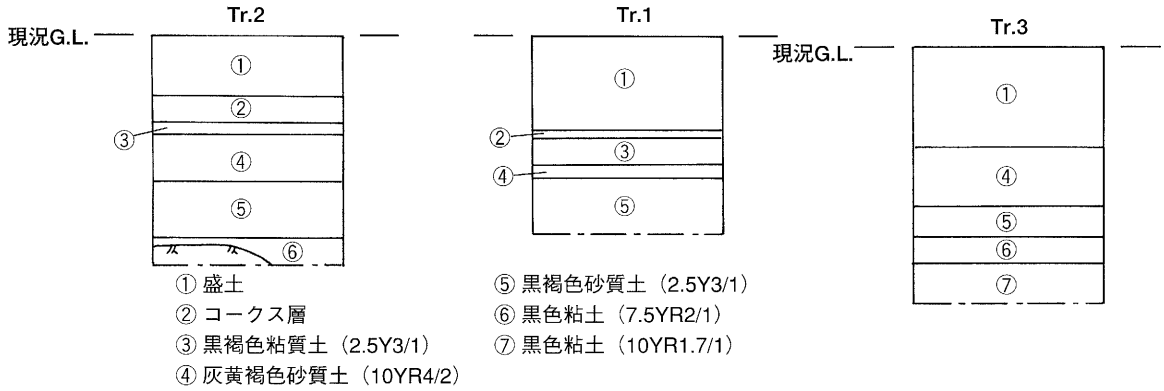


図５　土層断面図（1/40）

調査区１（Tr.1）は開発計画地東部に幅２m、長さ２mの調査区を設定し約４㎡について遺物、遺構に注意しながら重機と人力を併用して掘削した。調査区の層序は上から下に①盛土（層厚約50㎝）、②コークス層（層厚約６㎝）、③黒褐色粘質土（2.5Y3/1、層厚約15㎝）、④灰黄褐色砂質土（10YR 4/2、層厚約６㎝）、⑤黒褐色砂質土（2.5Y 3/1、層厚約30㎝）、地山（じゃっ欠）の順に堆積している。砂質土より下層からは湧水が著しく地下水位が高い。遺物、遺構は検出していない。

調査区２（Tr.2）は開発計画地南部に幅２m、長さ２mの約４㎡について遺物、遺構に注意しながら重機と人力を併用して掘削した。調査区の層序は上から下に①盛土（層厚約30㎝）、②コークス層、③黒褐色粘質土（2.5Y3/1、層厚約6㎝）、④灰黄褐色砂質土（10YR4/2、層厚約25㎝）、⑤黒褐色砂質土（2.5Y3/1、層厚約30㎝）、⑥黒色粘土（7.5YR2/1）砂質土、地山（じゃっ欠）の順に堆積している。北西方向への落込みを検出した。黒褐色砂質土中より土師器、瓦器等の中世に属する遺物片が出土している。

調査区３（Tr.3）は開発計画地北部に幅２ｍ、長さ２ｍの調査区を設定し約４㎡について遺物、遺構に注意しながら重機と人力を併用して掘削した。調査区の層序は上から下に①盛土（層厚約50㎝）、④灰黄褐色砂質土（10YR4/2、層厚約30㎝）、⑤黒褐色砂質土（2.5Y3/1、層厚約30㎝）、⑥黒色粘土（7.5YR2/1、層厚約15㎝）、⑦黒色粘土（10YR1.7/1）の順に堆積している。現況G.L.から1.5ｍまで掘削したが地山は検出していない。遺物は灰黄褐色砂質土中より陶器片が出土している。

試掘調査の結果、調査区2、3（Tr.2、3）より遺物を検出したが顕著な遺構は検出されなかった。ただし調査区２（Tr.2）にて北西方向へ落ち込みを検出し、また堆積状況から調査区３（Tr.3）は落込みの中であったと推察される。周辺部での調査の進展により明らかとなることを期す。

田尻遺跡第33次発掘調査

申 請 者：個人事業者

調 査 地：田尻町吉見地内

申請面積：720.35㎡

調査面積：約９㎡

調査期間：平成22年６月24日

調査の概要

平成22年６月24日に開発予定地内に２箇所の調査区を設定し、約9㎡について調査を実施した。

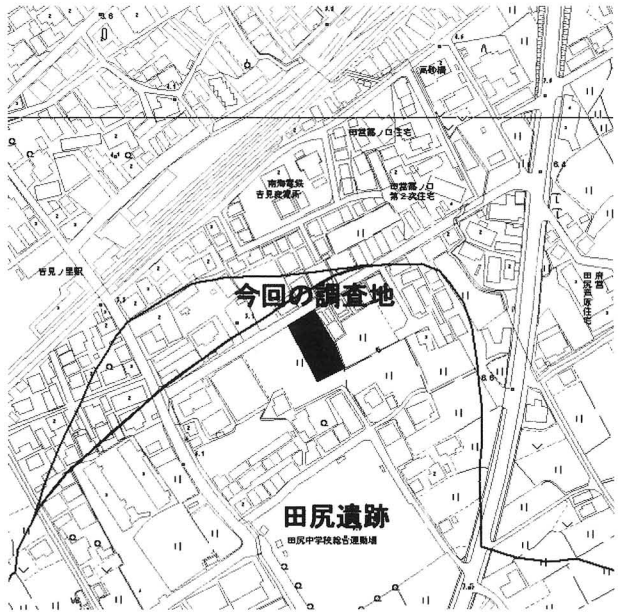


図６　調査地点位置図（1/5,000）

調査区１（Tr.１）は開発計画地西側の擁壁部分に幅1.3ｍ、長さ3.5ｍの調査区を設定し約4.5㎡について遺物、遺構に注意しながら掘削した。調査区の層序は上から下に①耕土（層厚約20㎝）、②褐灰色砂質土（7.5YR5/1、層厚約14㎝）、③灰褐色砂質土（7.5YR4/2、層厚約16㎝）、④暗灰黄色砂質土（2.5Y4/2、層厚約10㎝）、⑤にぶい黄褐色粘質土（10YR4/3、層厚約6㎝）、⑥黄灰色粘質土（2.5Y4/1）の順に堆積している。擁壁工事の及ぶ現地表下80㎝まで掘削したが地山は検出できなかった。遺物は暗灰黄色砂質土中より土師器片が出土している。

調査区２（Tr.2）は開発計画地南側の共同住宅建築予定部分に幅1.3ｍ、長さ3.5ｍの約4.5㎡について遺物、遺構に注意しながら掘削した。調査区の層序は上から下に①盛土（層厚約30㎝）、②耕土（層厚約12㎝）、③暗褐色砂質土（10YR3/3、層厚約6㎝）、④灰黄褐色砂質土(10YR4/2)、⑤暗灰黄色砂質土（2.5Y4/2、層厚約20㎝）、⑥灰黄褐色（10YR4/2）砂質土の順に堆積している。基礎工事の及ぶ現地表下80㎝まで掘削したが地山は検出されず。河川跡と思われる落込みを

検出した。遺物は灰黄褐色砂質土中より須恵器、土師器、黒色土器片が出土している。周辺部での調査の進展により明らかとなることを期す。

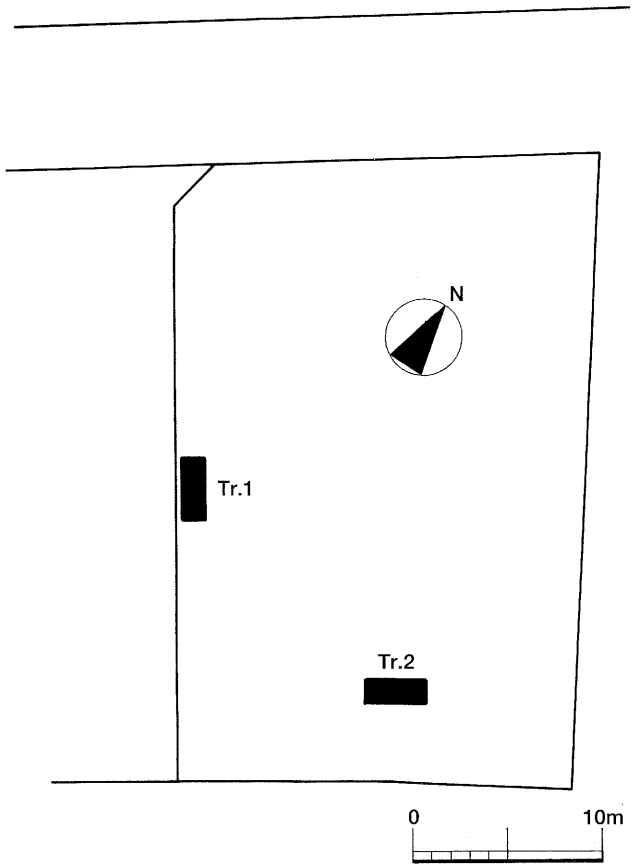
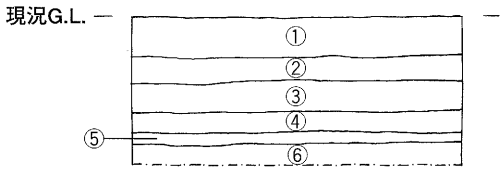
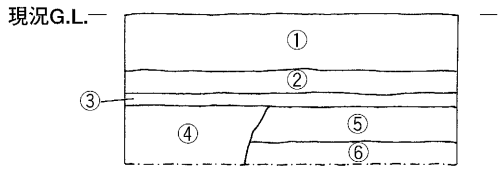


図７　調査区設定図（1/400）



① 耕土
② 褐灰色砂質土（7.5YR5/1）
③ 灰褐色砂質土（7.5YR4/2）
④ 暗灰黄色砂質土（2.5Y4/2）
⑤ にぶい黄褐色粘質土（10YR4/3）
⑥ 黄灰色粘質土（2.5Y4/1）

図８　Tr.1土層断面図（縦1/40、横1/80）



① 盛土
② 耕土
③ 暗褐色砂質土（10YR3/3）
④ 灰黄褐色砂質土（10YR4/2）
⑤ 暗灰黄色砂質土（2.5Y4/2）
⑥ 灰黄褐色砂質土（10YR4/2）

図９　Tr.2土層断面図（縦1/40、横1/80）

田尻遺跡第34次調査

申 請 者：個人開発事業者

調 査 地：田尻町吉見地内

調査原因：共同住宅の建築

申請面積：951.84㎡

調査面積：約2㎡

調査期間：平成23年１月20日

調査の概要

今回の調査は、共同住宅の建築に伴い実施した田尻遺跡第34次調査である。調査地は標高６ｍに位置している。

平成23年1月20日に開発予定地内に１箇所の調査区を設定し、約2㎡について調査を実施した。

図10　調査地点位置図（1/5,000）

調査区(Tr.1)は開発計画地西部に幅１ｍ、長さ2ｍの調査区を設定し約2㎡について遺物、遺構に注意しながら重機と人力を併用して掘削した。

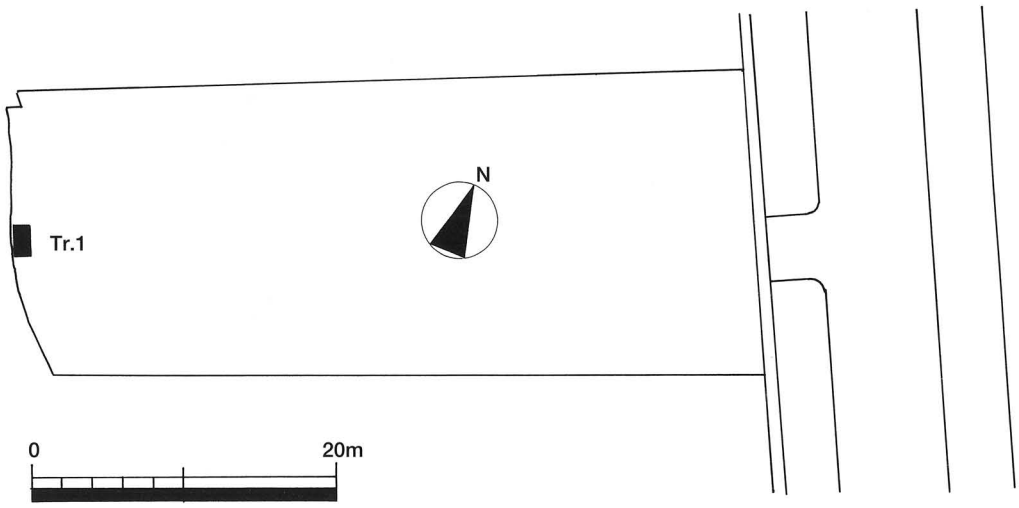


図11　調査区設定図（1/500）

調査区の層序は上から下に①耕土(層厚約20㎝)、②灰黄褐色砂質土(10YR4/2、層厚約12㎝)、③オリーブ褐色砂質土(2.5Y4/3、層厚約11㎝)、④灰黄褐色砂質土(10YR4/2)の順に堆積している。遺物、遺構は検出していない。周辺部での調査の進展により明らかとなることを期す。

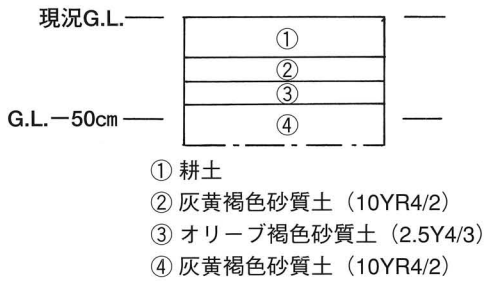


図12　土層断面図（1/40）

図　　版

図版1

Tr.1土層堆積状況（開発確認調査01）

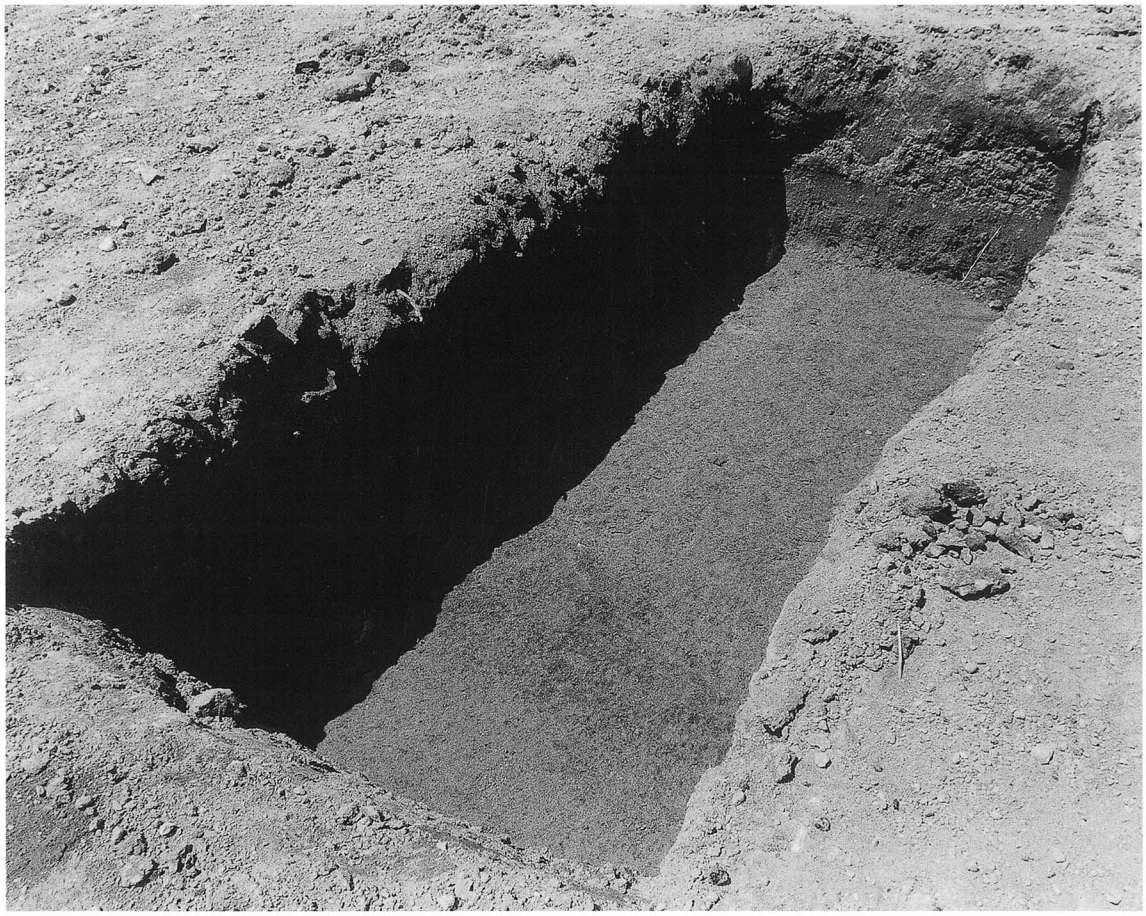
Tr.2土層堆積状況（開発確認調査01）

図版2

Tr.3土層堆積状況（開発確認調査01）

Tr.1土層堆積状況（田尻遺跡第33次）

図版3



Tr.2土層堆積状況（田尻遺跡第33次）

Tr.1土層堆積状況（田尻遺跡第34次）

報告書抄録

ふりがな	たじりちょうないいせきぐんはっくつちょうさがいよう
書名	田尻町内遺跡群発掘調査概要
副書名	
巻次	12
シリーズ名	田尻町文化財調査報告
シリーズ番号	第19集
編著者名	目出裕美子、中野篤史
編集機関	田尻町教育委員会
所在地	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺８８３番地１
発行年月日	２０１１年３月３１日

所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号				(㎡)	
遺跡範囲外	大阪府(おおさかふ) 泉南郡(せんなんぐん) 田尻町(たじりちょう) 嘉祥寺(かしょうじ)			34° 39′ 739″	135° 29′ 171″	平成22年 11月12日	12	分譲住宅 建築
田尻遺跡 第33次	大阪府(おおさかふ) 泉南郡(せんなんぐん) 田尻町(たじりちょう) 吉見(よしみ)			34° 39′ 065″	135° 29′ 068″	平成22年 6月24日	9	共同住宅 建築
田尻遺跡 第34次	大阪府(おおさかふ) 泉南郡(せんなんぐん) 田尻町(たじりちょう) 吉見(よしみ)			34° 38′ 871″	135° 29′ 048″	平成23年 1月20日	2	共同住宅 建築

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
遺跡範囲外			落込み	土師器、瓦器、陶器、瓦	
田尻遺跡 第33次	散布地	古墳～中世	落込み	須恵器、土師器、黒色土器	
田尻遺跡 第34次	散布地	古墳～中世	なし	なし	

田尻町文化財調査報告　第19集

田尻町内遺跡群発掘調査概要12

２０１１年３月

編集・発行　　田尻町教育委員会
〒598－0091
大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺883番地１
TEL072－466－8801

印　　刷　　小笠原印刷株式会社
大阪府泉佐野市新安松2丁目4－1